

* 5 エヤーネットシャツの検討

東京家政大学 ○小野 喜子
労働科学研究所 阪本 久子

エヤーネットシャツは、空気層を豊富に衣服下にもつことが出来る。そのために保温効果を期待出来るかどうか。又衣服下にエヤーネットシャツを着た場合に、その多孔性の故に、皮膚からの蒸発が容易であるかどうか。この二点を検討しようとしたのである。

衣服下の気温と湿度の測定には、銅・コンスタントンの熱電対を乾球と湿球とし、湿球は接点を木綿糸で巻き、小水筒の水につけるようにした。

エヤーネットシャツを左右半みごろに割り、一方を普通メリヤスシャツにし、これと色々の衣服の組合せをつくり、衣服下各層の温湿度を測定し、上記の点を検討したのである。